

横浜市立荇田西小学校

1月号

荇田西小だより

令和6年1月10日

校長 矢崎 純一

「一年の計」

新しい年の始まりを迎えました。正月に甚大な災害や痛ましい事故が重なり、多くの尊い命が失われました。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日でも早い復興を願うばかりであります。

また、オリンピックイヤーである2024年、オリンピック競技を通して心が熱くなるような、日本国中が明るくなるような活躍も願っています。

さて、正月を迎えますと幼少期の頃、両親が私に「一年の計は元旦にあり。」と話してくれたことや事あるごとにことわざや慣用句を用いて人生で大切な考えや振る舞いについて教えてくれたことを思い出します。

そのような自分の経験からも子どもたちの豊かな言語環境の一端を担うのは家庭と学校であるという思いもあり、冬休み明け最初の朝会の校長講話で「一年の計は元旦あり」について話をしました。子どもたちに「今年の目標は立てましたか。」と質問をした後に「一日（いちじつ）の計画は朝に立て、一年の計画は元旦に立てることが肝心である。」ことを話し「物事を始める前には事前に計画を立てることが大事である。」と目標や見通しをもつことの大切さを伝えました。荇田西小学校着任以来、校長講話や子どもたちの前で話す機会がある度に「思いや願い、目標をもつことの大切さ」を、子どもたちにタイムリーなエピソードや自分の経験を交えながら度々伝えてきました。

校長講話の最後は「元旦に自分の計画や目標を立てた人はそれが達成できるように、そして、まだ計画や目標を立てていない人は今からでも遅くはありませんので、すてきな計画や目標を立てて一日一日を有意義に過ごしてほしい。」と結びました。

自分の目標や願いの達成に向けて努力し、実現した時の喜びは、子どもたち自身の自己肯定感の高まりにつながると信じています。

令和6年も子どもたちの健やかな成長のために教職員が一丸となり教育活動を進めてまいります。皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。